

令和4年度 学校目標評価（中間評価）

領域	対象	具体的な目標	目標達成のための行動計画・方策など	中間評価	計画の実施・評価の主体 担当者・評価の方法他	目標達成のための取り組みの状況
教育活動	全般	生徒の自主性を育てる	生徒自らの手で主体的・自主的な学校生活を送るための支援 「自治の校風」の理想の具現化に向けた活動の保障と指導助言	4.0	教務部・生徒部(生徒会) 進路指導部・学年・教科	<ul style="list-style-type: none"> 行事や探究課題への取り組みに対する、学年幹事会の活動の後押しを行っている。(各学年) 生徒自ら考え、議論する中で行動できるような集団の力をつけさせるよう、見守り・助言・協力するよう努めた。 生徒たちがFace to Face で話をしたり考えたりする場面を作ることが課題である。
	学習指導	広い分野で確かな学力を養う	基礎学力の育成 自学自習ができる向上心・探究心の涵養 探究的な学びの推進	4.1	教務部 進路指導部	<ul style="list-style-type: none"> ドリル・小テスト、到達度テスト等を実施し、生徒の理解度の把握に努めている。(各教科) 視聴覚教材の使用・各種ワークを取り入れたり、知的欲求も満たすよう教材を工夫している。(各教科) 夏・秋の補習や放課後補習および外部講師による進路講演会を計画的に実施している。(3年) 課題探究についての基礎的なトレーニングを実施している。(1年)
		進路希望の実現を図る	新教育課程の研究 生徒の資質・能力を高める指導方法の研究	4.0	探究キャリア教育部 研究部 学年 教科	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な活動ができるようにグループ学習を取り入れるよう工夫している。 学年通信や模擬試験の効果的な活用を図っている(各学年) 進路情報を厳選して提供するとともに、入試結果分析会議を実施し進路指導に生かしている。(進路) 小論指導に対する計画的な指導を行っている。(各学年) 「理数探究基礎」「メディア表現」等の新科目を導入した。新教育課程の問題点を調査し、検討する予定。
	進路指導	計画的なキャリア教育を行う	外部講師による進路講演会、大学説明会、卒業生との懇談、進路通信、学年集会、個別面談、適性検査等を通じた進路意識の啓発 企業や大学と連携したキャリア教育の充実。教員を対象とした進路指導研修会の実施	4.1	進路指導部 探究キャリア教育部 学年/教科/進路希望調査 学習実態調査/進路結果	<ul style="list-style-type: none"> 信州大学連携ゼミ、深志教養ゼミ、OB特別講義キャリア研修、進路レポート作成の実施。(1,2年、探究部) 英語の民間試験への対応策として希望者にGTECを実施した。(教科) 課題探究や連携講座など探究的な学びに繋がる活動の支援をしている。(教科) 京都大学高大連携「学びのコーディネーター事業」実施予定。(探究キャリア部)
	生徒の自治	自治活動を保障し自治的精神を育成する	学級活動・部活動・生徒会活動における生徒の自主性や、リーダー育成のための機会の保障と指導助言 文化祭・講演会など生徒会行事に対する支援と指導助言	4.0	生徒部(生徒会) 学年 生活意識実態調査 他	<ul style="list-style-type: none"> 学年生徒行事の企画運営を積極的にに行えるようになってきた。(各学年) 文化祭において、コロナ対策を徹底しながら新たな取り組みを取り入れて企画・実行することができた。
生活指導	規律ある生活のリズムをつくる	学習を中心とした生活リズムの確立(部活動・生徒会活動の時間の適正化) あいさつの定着 清掃・保健・交通安全指導	3.5	生徒部 進路指導部 保健部 学年 教科	<ul style="list-style-type: none"> 機会あるごとに、自転車事故・声かけ・器物損壊・あいさつについて、注意を呼び掛けている。 遅刻・欠席の生徒への声かけを行うなど、挨拶・清掃の励行に努め、定着しつつある。 	
	適切な個人指導及びカウンセリング体制を充実させる	教科担任・HR担任・クラブ顧問の連携 スクールカウンセラーとの連携。きめ細やかな生徒相談の実施。 保護者との懇談の実施	3.9	保健部 教育サポート委員会 学年 教科他	<ul style="list-style-type: none"> 保健部、委員会と連携し、相談・サポート体制を構築し、成果を上げつつある。(各学年) HPへの掲載、保健室廊下に予定を掲示するなどし、誰でもいつでも利用できる体制の充実を図っている。 保健室専用外線電話も設置し、予約しやすい環境も整え、活用されている。 悩みを抱える生徒や保護者への丁寧な対応につなげられるよう、カウンセラーと関係職員が密に情報を共有している。 学年会、職員会等で情報が共有に努め、定期的にサポート委員会を行っている。 	

学校運営	安心安全な学校	快適な学校環境の整備を図る	危機管理体制の整備 いじめ・体罰のない学校環境の確保 健全な職場づくりの推進 環境対策(ゴミの削減、電気・水道使用量の削減)	3.7	学校衛生委員会 健全な職場づくり推進委員会 生徒部(生活) 生徒厚生委員会 事務	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時防災対策の検討を通じて、全校生徒の防災備蓄品を購入設置するとともに、防災マニュアルの改訂を行うことができた。 ・いじめ・体罰については、機会をとらえて指導するとともに、学校生活アンケートの結果を踏まえて対応している。 ・学校安全衛生委員会を通じて、年休、振休取得、時差出勤の実施等を継続して行っている。 ・食中毒などの話題から、各種感染対策他について授業内容に取り入れた。(教科) ・校内の定期的な消毒作業を、支援員と保健部で行っている。 ・ゴミ当番を配置し、分別の徹底と排出量削減に努めている。
	開かれた学校	保護者との連携を図る	PTA総会の開催、学年・学級PTAの開催 地区PTAの開催。保護者面談の実施、適切な家庭訪問の実施 緊急時一斉メール配信システムの活用	4.0	渉外部 教務部 学年	<ul style="list-style-type: none"> ・進路や生活面など必要に応じた面談、家庭訪問を実施している。(各学年) ・コロナ感染症の影響を受け他校との交流や総会・学級・学年PTAの開催が限定されたが、PTA総会当日は学年PTAを開催できた。地区PTAも二地区開催した。PTA通信も発行予定である。 ・学校休業日、台風の影響を予測した事前通知、PTA依頼等の件で一斉配信メールシステムを活用した。
	開かれた学校をめざす	「評価および公開方法」の改善と充実 保護者・地域・中学校への情報発信 公開授業・中学生体験入学等の実施 学校評議員会の開催、ホーム・ページの充実	4.2	教務部 学校評価委員会 保護者アンケート 他	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会と協力しながら学校案内を一新し、HPと連動したパンフレットができた。 ・昨年度実施できなかった保護者向けの公開授業を実施することができた。 ・体験入学は、中学生と教員保護者にわけて実施し、好評を博した。 	
	学校の情報化	ICTを活用した学校環境の整備を図る。	ICT(情報通信技術)を活用した学習の研究、充実 一人一台端末を活用した学習活動の研究・推進。	4.1	教務部 施設管理部 研究部	<ul style="list-style-type: none"> ・Googleクラスルームは定着しつつあるが、更に活用するよう、研究が必要である。 ・資料や演習問題等をGoogleクラスルームや特設HPにアップロードし、自学自習しやすいよう工夫している。 ・タブレット端末を実験に取り入れ、結果などの集約・共有・分析を行うなどの工夫をした。(理科)